

平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	情報技術と職業入門(Information Technology at Work Place -exercise)	授業コード	P160201
担当教員名	坪倉 篤志	科目ナンバリングコード	P21602
配当学年	2	開講期	通年
必修・選択区分	選択	単位数	
履修上の注意または履修条件	課題に対する取り組み等を重視します。出席を欠かさないで下さい。 全員、履修してください。(学科推奨科目) 履修制限:当該学年次のみ履修可、再履修:不可		
受講心得	授業時はもちろん、各自の主體的な学内外での取り組みも重要になります。		
教科書	必要に応じて教員が資料を作成し配布します。		
参考文献及び指定図書	就職活動の神様の一般常識 問題集 ユーキャン就職試験研究会 他必要に応じて 就職活動の神様の一般常識 速習テキスト ユーキャン就職試験研究会 中3五科(10分間基礎ドリル20) 学研教育出版 就職活動の神様の一般常識これだけ! 一問一答集 ユーキャン就職試験研究会 就職活動の神様のSPI2問題集(ユーキャンの就職試験シリーズ) 就職活動の神様の一般常識「超」定番の1,000問プラス最新時事(ユーキャンの就職試験シリーズ)		
関連科目	各種専門科目、社会参画系授業、情報技術と職業入門(演習、実践)		

授業の目的	4年間で取り組んでいるキャリア教育プログラムの2年目のステップです。主テーマ 将来の実際を見つつ、到達可能な目標に向けて取り組む。実物体験を通して主體的活動能力を習得し、社会を知る。
授業の概要	これまでに建てた将来の目標に向け、業界が求める能力や自己能力と向き合います。不足している能力については、取り組み、必要に応じて目標の再確認をします。また授業の中で、様々な講演等から、社会の現実と自分のイメージの違いを学習します。さらに1年に引き続き、「グループディスカッション」や「実物体験」等に取り組む、計画性、主体性、自主性に加え、専門業界が、どのように実際の社会の中で活用され、どのように構築・制作されているのか、学習します。学期後半に一般常識の小テストを行ないます。小テストまでに各自で基礎学力の修得に取り組んでおきなさい。 実物体験:学内外で実施されるイベント・発表会・展覧会・説明会・シンポジウム・企業訪問等での学習。各自で自主的に取り組みます。 主テーマ 将来の実際を見つつ、到達可能な目標に向けて取り組む。実物体験を通して主體的活動能力を習得し、社会を知る。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週: ガイダンス 本授業での取り組みについて説明を行ないます。	配布資料。活動報告書。進路希望調査、48か月計画
第2週: グループディスカッション グループディスカッションの演習に取り組めます。この演習から一人での取り組みではなく、仲間と意見交換しながら、グループとしての答えを考える練習を行います。	活動報告書
第3週: 業界の実際(現実) 学生諸君が目指す各業界で、実際に取り組まれている事項について解説します。これらから、理想としてとらえている業界と、現実に業界で取り組まれていることの違いを学びます。	活動報告書
第4週: 企業の方々のお話①、九州の企業	

企業で活躍されている方々から、業界の実際についてお話をいただきます。講演後の質疑応答時間にて、質問能力などの育成も行います。	活動報告書
第5週：企業の方々のお話② 企業で活躍されている方々から、業界の実際についてお話をいただきます。講演後の質疑応答時間にて、質問能力などの育成も行います。	活動報告書
第6週：業界研究① 将来に向けた、まずの1歩として業界について調査に取り組みます。まず練習を行い、その後、各自でワークに取り組み、調査研究能力を習得します。	活動報告書
第7週：業界研究② 将来に向けた、まずの1歩として業界について調査に取り組みます。まず練習を行い、その後、各自でワークに取り組み、調査研究能力を習得します。	活動報告書
第8週：業界研究③ 将来に向けた、まずの1歩として業界について調査に取り組みます。まず練習を行い、その後、各自でワークに取り組み、調査研究能力を習得します。	活動報告書
第9週：インターンシップ体験談・説明会 昨年度、インターンシップに取り組んだ学生から、インターンシップの体験談の発表を聞き、企業の中での業務や、企業について知ります。さらに、今年度のインターンシップ受け入れ企業についても学習し、自主的にインターンシップに取り組みます。	活動報告書
第10週：ワーク① 一般常識模試 現時点での自身の能力を捉えるために、一般常識模試に取り組みます。この取り組みから自身の能力と、取り組みが必要な事項について明らかにします。	活動報告書
第11週：実物体験① 半期の間各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます	活動報告書
第12週：個人面談 大学に入学しておおよそ1年半が経過しました、あと1年と少しで就職活動が本格化します。これまでとこれからについて、担任と振り返り・検討します。	活動報告書
第13週：実物体験② 半期の間各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます	活動報告書
第14週：ワーク② 一般常識模試 解説講座 第10週に取り組んだ一般常識模試の結果から、自身の能力を捉えます。自身の能力から、目標とする業界や職種に向け、学習計画を立てます。計画については担任などで確認し、計画的に学習します。	活動報告書
第15週：ガイダンス 期末小テスト(時事) 前期の締めくくりとして、ガイダンスを行います。また期末小テストとして時事問題を体験します。また一般常識模試の結果と時事問題の結果から、今後の学習計画について再度検討します。	学習計画
第16週：ガイダンス 本授業の後期での取り組みについて説明を行いません。	配布資料。活動報告書。進路希望調査、48か月計画
第17週：ワーク① 一般職業適性検査 将来に向けた様々なワークに、クラス毎や全体で取り組みます。まずは一般職業適性検査から、自身の適性を捉えるためのワークに取り組みます。	活動報告書
第18週：就活体験談 就職活動で内定を獲得した4年生から、就職活動での取り組みについて教わります。また発表会後には先輩方との交流会・意見交換会にて、質問し、ノウハウを学びます	活動報告書
第19週：企業研究①	

	目標とする企業について4回の授業で研究に取り組みます。まずは練習として演習課題に取り組みながら、企業研究の方法について学習します。その後、各自で調査に取り組みまとめます。	活動報告書
	第20週：企業研究② 目標とする企業について4回の授業で研究に取り組みます。まずは練習として演習課題に取り組みながら、企業研究の方法について学習します。その後、各自で調査に取り組みまとめます。	活動報告書
	第21週：企業研究③ 目標とする企業について4回の授業で研究に取り組みます。まずは練習として演習課題に取り組みながら、企業研究の方法について学習します。その後、各自で調査に取り組みまとめます。	活動報告書
	第22週：企業研究④ 目標とする企業について4回の授業で研究に取り組みます。まずは練習として演習課題に取り組みながら、企業研究の方法について学習します。その後、各自で調査に取り組みまとめます。	活動報告書
	第23週：ワーク② 一般職業適性検査 ワーク 第4週に取り組んだ適性検査の結果から、ワークに取り組みます。検査結果を分析しながら、各自が適性のある分野について捉え、将来の方向性について担任と共に検討します。	活動報告書
	第24週：実物体験① 半期の間各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます	活動報告書
	第25週：実物体験② 半期の間各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます	活動報告書
	第26週：実物体験③ 半期の間各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます	活動報告書
	第27週：実物体験④ 半期の間各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます	活動報告書
	第28週：個別面談 大学に入学しておおよそ2年が経過、あと1年後に就職活動が始まる時期になりました。このタイミングで担任と個別に面談を行い、これまでとこれからについて、振り返り、検討します。	活動報告書
	第29週：ワーク③ 期末小テスト(一般常識・時事) 就職活動開始を1年後に控え、一般常識テストに取り組みます。規定得点以上の取得が必須になります。また時事問題は体験し、自身の能力を結果から実感します。	活動報告書
	第30週：ガイダンス・期末小テストワーク・学習計画 第14週に取り組んだ期末小テストの結果から、各自の現時点の能力を確認します。結果を踏まえ、1年後に始まる就職活動に向け、改善すべきポイントを捉え、学習計画を立案します。	学習計画
	第31週：	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー II : 地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	

備考	
----	--

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	設定した将来の目標に向け、到達できるよう取り組む。就職活動に向けた準備
【知識・理解】	実践的な就職活動に向けた、知識の習得
【技能・表現・コミュニケーション】	演習を通して集団面接の実践能力やグループディスカッション能力を育成
【思考・判断・創造】	就職活動に向けた実践的な判断ができる

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		15点	5点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	40点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		15点	5点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		15点	5点	
<p>(「人間力」について)</p> <p>※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会</p>				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	レポートの提出、レポートの記載内容
発表・その他 (無形成果)	課題やワークへの取り組み